

2017年2月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

2017年3月16日
在ドミニカ共和国日本国大使館

1 内政

(1) 22日、メディーナ大統領は、交通分野に関する団体を統合して交通協会 (Intranto) を設立する、歩行者に対する罰金 (信号無視等) を設定する、10年以上前の車両を乗り合いタクシー、乗り合いバスなどの公共交通に使用してはならない等定めた改正道路交通法を公布した。

(2) 27日、メディーナ大統領は、独立173周年記念日に際し国会にてポイント以下の演説を行った。

ア 好調なマクロ経済 (2016年ラ米一のGDP 6.6%成長、600万人の観光客など) と実績 (10万人の雇用創出など) を強調しつつ、今後の重点分野 (教育の質向上、南部水域の持続的開発) を明らかにした。

イ これまで沈黙を保ってきた伯オデブレヒト社の汚職問題に言及し、徹底究明及び厳重なる処罰を明言、汚職との闘いを強調した。

ウ 国民の関心が極めて高い治安や都市交通問題についても、警察官給与の大幅増額や公共交通システムの再編計画を発表した。

2 外交

(1) 7日、メディーナ大統領は、モイーズ・ハイチ大統領の大統領就任式に出席した。また、「メ」大統領は、両国の関係を強化すること、コンセンサスを得て新たな関係強化策に取り組むことを望む旨の大統領府プレスリリースを発表した。

(2) 22日、バルガス外相はグアテマラを訪問、カルロス・モラレス同国外相と会合を行い、両国の査証免除協定が本年3月1日より発効する旨の合意に至った。

(3) 23日、バルガス外相はエルサルバドルを訪問、マルティネス同国外相と会合を行い、両国の査証免除協定に署名した。また、バルガス外相はCELACカルテット (ドミニカ (共)、エルサルバドル、エクアドル、ガイアナの4カ国) 外相会合に出席した。同会合では主に、トランプ米政権の対ラ米政策の不確実性について議論され、バルガス外相は、「トランプ政権が具体的に動き出すのを慎重に待ちつつ、引き続き注視していく。先走ることなく、自国民を護るための準備を進めるのみである。」旨述べた。

CELACカルテット外相会合終了後、バルガス外相はサンチェス・セレン・

エルサルバドル大統領を表敬訪問し、エルサルバドルがCELAC議長国を務める間ドミニカ（共）は常に支援する用意がある旨のメディーナ大統領からのメッセージを伝えた。これに対しサンチェス・セレン大統領は、ドミニカ（共）の前議長国としての功績を讃えると共に、ドミニカ（共）との政治、経済、投資関係を強化していく意向を示した。

3 経済

（１）１月３１日－２月１０日、IMFは４条協議を行うためのミッションを当国に派遣し、１３日、概要以下のプレスリリースを発表した。

ア ドミニカ（共）経済は景気サイクル的に強い状態にある。過去３年の平均７％の経済成長はポテンシャルを上回るものだが、潤沢な供給はインフレ圧力を弱め、外部ポジション（対外収支）を強化している。この数年の持続的な成長と慎重な政策は、社会的指標を向上させた。

イ （経済）成長は、（本来の）ポテンシャルに向かって縮小しつつも健全に推移し、インフレ率は目標値に向かって増加すると予想される。実質所得の回復、米国の成長、巨額の投資により、国内需要は引き続き成長を牽引する。国内外の融資環境が厳しくなる中、２０１７年以降、成長率は５％程度になると予測される。

ウ 主要なリスクは、対外貿易相手国（特に米国）、石油価格の見通し、世界的な金利及びドル高の見通しを取り巻く不確実性にある。

エ 増大するリスクに直面しつつ持続的な成長を維持するためには、財政状態を強化する必要がある。この財政強化は、課税対象の拡大、課税システムの簡易化、公平な課税によって実施されなくてはならない。また、電力セクター及びその他の公共支出の改革も伴うべきである。

オ 中期財政の枠組みでは、債務目標を達成するための財政ルールを通じて、GDP比を固定した債務運用が行われるべきである。これにより、財政規律を更に強固にすることが可能となる。

（２）９日、政府は警察官の給与１０％～４５％増を発表した。巡査の給与は４５％増で１０,１５０ペソ（約２２０ドル）、国家警察長官の給与は１０％増で８９,９６３ペソ（約１９５５ドル）になった由。

（３）２０日、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（CEPAL）は、中米及びドミニカ（共）（CARD）の２０１６年の経済評価及び２０１７年の予測と題した報告（Centroamerica y Republica Dominicana, Evaluacion economia 2016 y perspectiva para 2017）を発表した。同報告は、２０１７年にCARDは平均４．５％、ドミニカ（共）は６．２％経済成長すると予想している由。

(別添1) 經濟指標

(了)